

三重大学 学術機関リポジトリ 研究教育成果コレクション MIUSE Mie University Scholarly E-collections

● 学術機関リポジトリとは？ — 研究教育成果のコレクションです

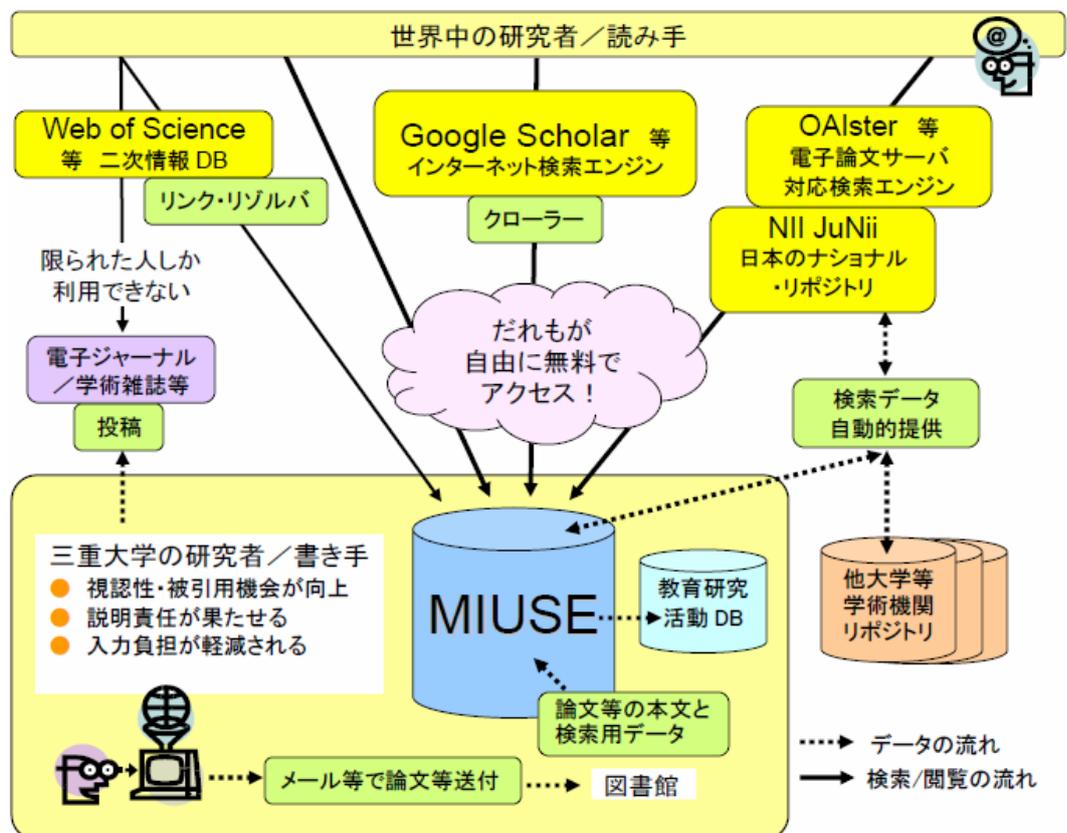
学術機関リポジトリ (Institutional Repository) とは、大学等の研究機関で生産された知的生産物を機関内に収集・蓄積・保存し、無償で発信するためのインターネット上の保存書庫です。2006年10月現在、世界では750以上、日本では約20の学術機関リポジトリが公開されています。

三重大学ではNII (国立情報学研究所) の平成18~19年度CSI (最先端学術情報基盤) 事業に高い評価を得て採択され、学術情報ポータルセンターの事業の一環として、本格的な構築を開始しました。

⇒ 登録できるコンテンツ

- 教職員等の皆さまが三重大学在職中に公開された研究教育成果物が対象です。
- 文書は原則として全文をPDF化して保存します。
- 査読論文 (海外/国内)、紀要、科研費等報告書、学位論文、学会・シンポジウム等の関連資料のほか、教材、画像、動画、音声等も登録可能です。

~三重から世界へ~ 書き手と読み手がつながります



⇒ 読み手: 本文に辿り着けるチャンスが増える!

⇒ 書き手: 論文が読まれ引用されるチャンスが増える!

MIUSEへの登録は、E-mail等で論文等を送るだけ。

こんなことでお困り
ではありませんか？

- 研究教育成果物の散逸が心配
- 研究教育成果物が埋もれてしまっている
- 教育研究活動DBの入力に時間を取られている

忙しい研究者にこそ、活用し
ていただきたい……「解決策」
がここにあります。

● メリットは？ — 研究者、大学、地域社会、世界に大きなメリットがあります

⇒ 大学としてのメリット

- 教育研究成果を永続的に集積・管理・公開することで**社会に対する説明責任**が果たせます。
- 一元的に成果を公開するため、**大学のブランド力**が高まります。
- 学術情報のオープン・デジタル化（初めから電子的に作成・収集）と過去に遡った成果の電子化を事業の両輪とすることで、**網羅的なコレクション**が構築できます。

⇒ 研究者のメリット

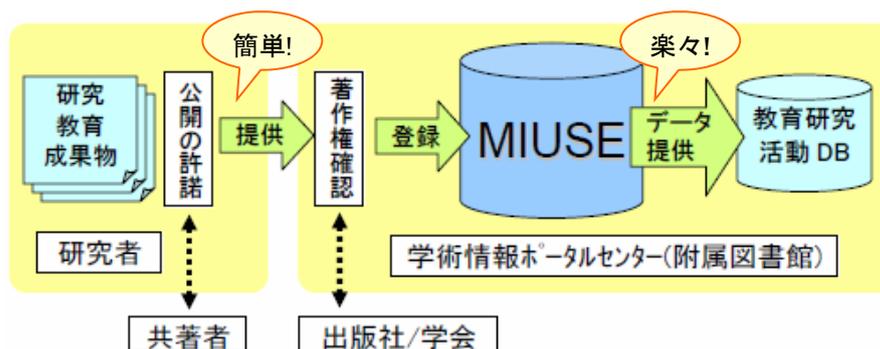
- **負担の軽減**
機関リポジトリから教育研究活動DBへデータが送られるため、入力負担が軽減されます。
研究者や学部・学科単位でのコンテンツ保存の負担が軽減されます。
抜刷等の配布を減らすことができます。
- **成果の効果的発信**
新たな発信ルートで、論文等の視認性・被引用機会の向上が期待されます。

⇒ 地域社会、世界のメリット

- 学術雑誌の価格高騰で雑誌/電子ジャーナルの購読が困難になってきています。機関リポジトリの公開で世界中の研究者が論文等を読めるようになり、**情報格差が是正**されます。
- 世界的なオープン・アクセスの流れにより、**学術情報の流通ルートが新たに確立**されます。
- 本文に加え、メタデータ（著者名、論文名、掲載雑誌名、巻号頁、抄録等）を世界標準に準拠した規格で公開するため、Google Scholar等での**検索ヒット率が向上し、本文の発見・アクセスが容易**になります。

● 登録の手順は？ — 簡単です

● 著作権処理は？ — お任せください



- 著作物の公開に関する許諾（共著者の許諾含む）をお願いいたします。
- 投稿された論文等（海外出版社の場合は著者最終稿）をメールの添付または学内便でお送りください。
- 出版社や学会等との間で著作権の確認は、図書館が専門家に相談しつつ行います。
- 本文のPDF化、メタデータ作成、機関リポジトリへの登録等を図書館が行います。

- 海外出版社が発行する雑誌の約94%以上で機関リポジトリでのセルフ・アーカイビングが認められています。
- 国内学会等の多くも、機関リポジトリでのセルフ・アーカイビングを認めています。
- 特許を出そうとしている場合には、機関リポジトリへの登録はできません。
- 学位論文（博士修士）の扱い、科研費報告書等の収集方法は、関係部局と調整する予定です。

まずは、ご一報ください。 学術情報ポータルセンター(附属図書館)情報リテラシー担当 内線: 2208

担当者E-mailアドレス: miuse@ab.mie-u.ac.jp